

本資料について

本資料は 2004 年 3 月に PMI から出された PMI CCR (Continuing Certification Requirements: 以下 CCR と記述) Handbook の抄訳です。PMP 資格取得者をご存知のように資格維持のためには 3 年間に 60PDU の資格維持のための活動が義務付けられています。資格維持に必要な CCR についてはその重要性にもかかわらず、適当な日本語訳がありませんでした。

PMI 東京支部認定委員会ではこのための翻訳を行いました。しかしながら期間、投入パワーの関係で完全なる翻訳とは言えず、抄訳にとどまっていました。この成果物の扱いについて検討した結果、認定委員会では抄訳でも利用価値は大きいと判断し、HP に公開することにしました。皆様は本資料で大筋を把握していただき、詳細に就きましては、皆様ご自身の手で原文を確認するようお願いいたします。

尚本資料は PMI 東京支部認定委員会ボランティア有志が行ったものであり、内容については、限られた条件下ではありますが十分検討を行ったものです、しかしながら内容については責任を持つものではありません。このような制限を持つものとしてご利用下さい

PMI 東京支部認定委員会 PDU-WG

本資料で書いてある事柄

- 1) PMP 資格維持について
- 2) PDU として認定されるアクティビティについて
- 3) CCR 報告書について

オリジナル資料について

現時点 (2005 年 9 月) で http://www.pmi.org/info/PDC_CCRHandbook.pdf より入手が可能です

資格認定プログラムミッション

プロジェクトマネジメント実践者およびプロジェクトマネジメントの専門的職業を促進し支援するための専門な資格の認定プログラムを立ち上げ、確立し、評価し、維持し、運営します。

プロジェクトマネジメント協会(PMI)は、プロジェクトマネジメント資格認定プログラムのスポンサーです。このプログラムの目的およびゴールは試験を基礎とした厳密で高い品質の専門家すなわち、プロジェクトマネジメント専門家(PMP)、の資格認定の策定、維持、評価、促進及び管理です。

PMP プログラムは、PMP の国際的コミュニティを支援し、専門的知識を客観的に評価、測定できるようデザインしています。PMP プログラムの必要条件および適格性基準は、適用規則をもって公正、公平、かつ一貫性をもって適用されます。

PMP プログラムは、すべてのアメリカの州および連邦政府の非差別的な制定法および法律に従い、また、志願者がいかなる組織、協会、グループの会員非会員にかかわらず認定を与えます。

PMP 認定を達成するために、志願者は、PMI が定めた教育と経験上の必要条件をすべて満たさなければならず、また PMP 認定試験によってテストされるプロジェクトマネジメントについての理解度および知識レベルが受け入れられる正しいレベルであることを実証しなければなりません。

さらに、PMP 証明を与えられた人々(認定者)は、PMI による継続認定要件プログラム(以前は専門の開発プログラムと呼んだ)を満足させることにより、プロジェクトマネジメントの分野の専門能力を継続的に保有することを証明しなければなりません。

このハンドブックは、PMP 認定を持続するための要件を概説します。

PMI 継続認定要件の概要

PMI継続認定要件プログラム(CCR)は、PMIが認定するプロジェクトマネジメントプロフェッショナルの継続的専門性の開発およびPMPの資格認定の維持を支援します。

PMPは、CCRサイクル期間に60以上の専門性開発ユニット(PDU)を獲得する必要があります。

最初のCCRサイクルは最初の資格認定日付から始まり、認定の翌年1月から始まる3年後の12月31日で満了となります。

その後、継続認定サイクルは、翌年の1月1日にスタートし3年目の12月31日に終了する3年の期間となります。

例：2002年7月1日にPMP資格を認定されました。この人の最初のCCRサイクルは2002年7月1日にスタートし、2005年12月31日に終了します。

その時点で、この人が、PMP証明を維持するための要件をすべて満たした場合、次のCCRサイクルは2006年1月1日に始まり、2008年12月31日に終了します。

資格認定以前に完了したPDU活動は、PMP更新要件のために充当されません。

PMP は、資格認定ステータスを維持するために、さらに PMI の PMP 専門家としての行動規範に則っていなければなりません。

専門性開発ユニット(PDU)とは？

PDUは、承認された学習と専門家としてのサービス活動を測るために使われる測定単位です。

一般的に、1PDUは、きちんと計画され、体系づけられた学習経験や活動に費やされた1時間に対して得られます。

PDUの端数は、15分を0.25として1時間の後に加算して報告出来ます。

換算目的のためには、1継続教育ユニット(CEU)は、10PDUと同等です。

PDUは5つカテゴリーで構成されます。

カテゴリーの説明は、このハンドブックの4および5ページに記します。

CCR活動をどのように報告するか？

PMPは、活動のとおり資格のある活動を報告する責任があります

PMPは、PMI CCR活動報告様式の写しを用意して、必須情報を記入して、ファクシミリまたは郵便でPMI/CCR記録オフィスへ

送り完了してください。

また、CCR活動報告様式は、PMIウェブサイトの認定エリアにある活動報告記録フォームを使ってオンライン提出も可能です。記録を確かめるために、報告したPDUの写しをPMIのウェブサイトで見ることができます。

PDU履修数の配分

どのカテゴリでも必要とする最少PDU数は特にありません。

PMPは、いろいろなカテゴリの任意の組み合わせを通してPDUを獲得できます。ただし、以下の制約があります。自己研鑽活動(カテゴリ-2-SDL)は、CCRサイクルあたり15PDUが上限であり、カテゴリ-5活動はCCRサイクルあたり20PDUが上限となります。

CCRホルダの整備

すべてのPMPは、活動報告の証拠として履歴資料を収納した個人用CCRホルダを保存する必要があります。毎年PMPのうち1%程度の方が任意に選択され、監査されます。従って、資料はCCRサイクルが終わった後少なくとも12ヶ月の間は保存してください。

要求される資料について、以下の適切な活動のカテゴリを参照してください。

資格更新の申請

60PDUを満たしたPMPには、資格更新申請書が送られてきます。

PMIの記録がPMI本部の資格認定部門に提出されたPDUとして確定した後、自動的にこの申請書がPMPに送られてきます。

PMIが資格更新のための申請書一式を受け取ってから、最新の資格パッケージが送られて来ます。

資格更新のためには申請書一式の提出が必要となります。

次CCRサイクルへの超過したPDUの繰越

現CCRサイクルの最終の年に取得して超過したPDUは最大20単位までは、次のCCRサイクルに繰越しが可能です。

CCRを満たすことができなかった場合

資格更新の条件を満たせなかったPMPは、CCRサイクルの完了から12ヶ月期限延長期間となります。

PMIは、このプログラム要件を満たさないPMPの資格を一時中断または取り消すことになります。

更新料について

2004年1月1日より、PMIは資格更新を有料化します。

CCRサイクルごとに、資格更新が有料となります。

PMPが必要とされたPDUを満たした後、資格更新申請書の提出によって支払いが必要となります。

更新料金について: 非会員: 150 (米国) ドル 会員: 60 (米国) ドル。

現役を退いたPMP

定年退職(職務引退)により自発的に現役PMPを退き、PMIのPMP職務規定を遵守したPMPは、終身PMP資格を申請できます。

資格を得るためには、PMPはプロジェクトマネジメント活動によって主な収入を得ていなく、また連続10年間は優良なPMPであったことが必要です。

終身PMP資格を申請したい方は、願書をPMI本部: 認定部門宛郵送してください。

プログラム情報

CCRプログラムの最新情報は、PMI Web サイトの資格エリアに掲載されます。

次の話題に関係した質問は、**PMI 資格部門**に連絡してください。

- ・資格更新のための条件
- ・資格の状態
- ・PDUの報告
- ・報告記録

次の話題に関係した質問は、**PMIの教育部門**に連絡してください。

- ・PMI登録教育機関(REP)

<p>プログラム情報</p>
<p>PDU認定のための活動に関して</p> <p>カテゴリー1: 正式な学術教育</p> <p>PDUは、PMP資格取得のあとに大学にてコースを受講することにより獲得出来ます。</p> <p>このコースは、学位履修単位となるだけでなくプロジェクトマネジメントに関するものでなければなりません。15週間1学期に週1時間ずつ履修すると、15PDUが得られる。1年の1/4学期であれば、10PDUが得られます。ある部分の履修科目だけがプロジェクトマネジメントに関連するような場合は、PDU単位は、全体のカリキュラムの中でプロジェクトマネジメントに焦点をあてている比率で計算されることとなります。どの履修科目で受講したかは、履修科目毎にCCR活動報告記録に記入しなければなりません。</p> <p><i>必要な文書: 単位取得を示す成績証明書を保持してください。</i></p>
<p>カテゴリー2: PMに関する専門的活動、および自己研鑽活動</p> <p>・PDUに関する単位数は、PMに関する専門的活動に参加することによって獲得出来ます。この専門的活動によって取得できる単位に関しては、分類2のガイドに従うこと。</p> <p>・1PDUは、プロジェクトマネジメントの知識やスキルに関する自己研鑽活動の文書によって獲得出来ます。一つのCCRサイクルで最大限15PDUを自己研鑽活動を行うことによって稼ぐことができます。</p> <p><i>必要な文書: PMPは、受講記録や研修プログラムなどの印刷物を保持してください。</i></p> <p><i>自己研鑽活動に関するPDUの疑義確認があった場合に、PMPは活動報告記録に加えて自己研鑽活動記録を提出してください。</i></p>
<p>カテゴリー2 活動</p> <p>専門的活動に関するPDUガイド</p>
<p>2A プロジェクトマネジメントに関する論文執筆、かつ、照会可能な定期刊行物(例:プロジェクトマネジメントジャーナル)</p> <p>30PDU/1記事(単独執筆の場合)</p> <p>20PDU/1記事(共同執筆の場合)</p>
<p>2B プロジェクトマネジメントに関する論文執筆、かつ、照会不可能な定期刊行物(例:プロジェクトマネジメントジャーナル)</p> <p>15PDU/1記事(単独執筆の場合)</p> <p>10PDU/1記事(共同執筆の場合)</p>
<p>2C 会議、シンポジウム、ワークショップ、公式教科課程におけるプロジェクトマネジメント話題の講演者</p> <p>10PDU/1活動</p>
<p>2D PMIで構成される会合におけるプロジェクトマネジメント話題の講演者</p> <p>5PDU/1活動</p>
<p>2E 会議、シンポジウム、ワークショップ、公式教科課程におけるプロジェクトマネジメントパネルディスカッションのメンバー、あるいは座長</p> <p>5PDU/1活動</p>
<p>2F プロジェクトマネジメントに関係する教科書の著者、または共著者</p> <p>40PDU(著者)</p> <p>20PDU(共著者)</p>
<p>2G セミナーや他の学習プログラム内容を発展させた人</p> <p>10PDU/新しいプログラム</p>
<p>2H 年間1500時間以上のプロジェクトマネジメントサービスを実行した人</p> <p>5PDU/1年間</p> <p>(2Hのカテゴリーの一つのCCRサイクルで最大15PDU取得出来ます。)</p>
<p>資格を得る活動および前もって定義した履修証明の最新の更新に関してはPMIウェブサイトを参照してください。</p>
<p>2SDL</p> <p>自己研鑽学習活動は、個々の学習課題に合わせて、自ら研究又は学習することとします。</p> <p>学習は、同僚、協力者、依頼人又は顧問との議論や指導の講習など非公式の活動が含まれます。</p> <p>学習には、記事、本、教育マニュアル、ビデオ、CD-ROM又は他の物的資料が含まれます。</p> <p>自己研鑽学習活動は、プロジェクトマネジメントに関連し、特定の目的に合い、そして知力を使用するように限定されます。</p> <p>カテゴリー2の自己研鑽のPDU単位の取得について、切り離しができる自己研鑽活動の様式ページを使用してください。</p> <p>この様式をCCR活動報告様式記録に入れて下さい。</p> <p>要求する文書: 監査があった場合、PMPは、証拠立てとなる自発的な学習計画の報告を準備できなければなりません。</p> <p>報告には、議論又は読書をした日付の記録を含むことが出来ます。</p> <p>自己研鑽学習により、最大15PDUが、CCRサイクルごとに取得することが出来ます。</p>
<p>カテゴリー3: PMI登録教育機関</p>

PMIに登録されている教育機関(REP)によって提供されかつPMI登録教育機関として指定される教育プログラムに出席することにより、PDUの取得が出来ます。

これらの教育機関は、PMIが設定した品質基準を遵守しているので、出席者にPDU証明書を単独で発行する権限を付与されています。

それらの教育機関は、登録教育機関(REP)のロゴマークで見分けられます。

例えば、REP登録機関は、学校、コンサルタント、企業の教育部門、専門家の団体、政府機関、PMI支部及びテーマを特定したグループ(SIG)が含まれます。

登録教育機関(REP登録機関)と提供するプログラムのデータベースでみる事ができます。

プログラムは、標題、場所、日付、時間により検索することができます。

要求する文書:PMPは、申込書、証明書又は受付文書を保持してください。

カテゴリー 4 : その他の機関

PDUは、PMIに登録されていない組織が提供する適切な教育プログラムに出席することにより得られることもあります。

得られたPDU数を計算するためには次の計算式を使ってください: プロジェクトマネジメントに関係するあらかじめ決められた活動もしくはコースの1時間は1PDUと同等。

必要な文書: PMPは申込書、受講証明書、受付文書のどれかを、またコース内容や講師の質を示すパンフレットが教材を保持しておく必要があります。

カテゴリー 5 : 専門的組織または地域社会組織へのボランティアサービス

非雇用者または非クライアントのカスタムグループに対する専門的な業務または無償のプロジェクトマネジメント活動によって各サイクルごとに最高20PDU獲得出来ます。

活動及びそれらの関連するPDU値の例として、下記を含みます

・プロジェクトマネジメント組織の役員として貢献すること

- 最少3ヶ月の参加。暦年につき 2 PDU 。

(3ヶ月未満の参加ではPDUは与えられません)

- 最少6ヶ月の参加。暦年につき 5 PDUs 。

- 12ヶ月の参加。暦年につき 10 PDUs 。

・プロジェクトマネジメント組織のための委員として貢献

- 最少3ヶ月の参加。暦年につき 1 PDU 。

(3ヶ月未満の参加ではPDUは与えられません)

-最少6ヶ月の参加。暦年につき 3 PDUs 。

- 12ヶ月の参加。暦年につき 5 PDUs 。

・プロジェクトマネジメントの関連のサービスをコミュニティまたは慈善団体(1年当たり 5 PDUs) に対して行うこと。

必要な文書: PMPは、PMPとして参加したしたことを認識できる組織からのレターおよび証明書を保持してください。

CCR 活動報告書様式

PMPは、PMI Web サイト上のCCR活動報告書様式を使いオンラインで PDUを取得することもできます。

オンラインで PDU を提出するのは、迅速で、簡単で、便利で、そして、処理が早くなります。

CCR活動報告書様式(このハンドブックにおいて供給される)は、PDUを受け取る資格を得る活動を報告するためにも使われます。

旧形式/非公式の様式を使い提出された場合、受け入れられない可能性があります。

例えば：
新しく必要となった情報が記述されていない旧形式の様式を使った要求は、不完全であるとみなされます。

PMPは、活動報告書様式の変更などとあわせてCCRプログラムの変更を知るために定期的にPMIのWebサイトをチェックすることが奨励されます。

様式を必要な分コピーしてください。
各活動ごとに個別の用紙を提出してください。
完全に用紙に書き込み、以下へ送付してください。

PMI Web サイト上の CCR 活動報告書様式
を使いオンラインで行う方法をお勧めします。
迅速、簡単にできます。(記者注)

必須の情報が記入されていない場合は、申請用紙は不完全とみなされ返されます。

PMPは、活動を行うごとに提出することを奨励されます。

土壇場での提出は、処理が遅れることになりかねません。

パート 1：統計情報

PMPは、名前、報告の日付、及び PMI ID番号を提供しなければなりません。
(PMIメンバーにとって、PMI ID番号は会員番号です。PMIメンバーではないPMPは、PDUを報告する目的のためにPMI ID番号を割り当てられます。
PMP認定書にプリントされたPMP Certification Numberは、PMI ID番号ではなく、PDUを報告するために使われるものではありません)

自分のID番号を知らないPMPは、CCR活動を報告する前にこの情報を獲得するために、+1-610-356-4600でPMI資格部門に連絡してください。
PMPは、住所、電話/ファックス番号、電子メールアドレスを同じく提供してください。

個人情報における住所の変更はすべて忘れずに報告してください。
PMIは、古い、もしくは、誤ったPMPの個人情報に起因して発生した問題に関して責任はありせん。
個人情報の変更は、このハンドブックの3ページにある個人情報を扱うPMI本部カスタマサービスに送ってください。
現役のPMIメンバーであるPMPは、我々のウェブサイト(www.PMI.org)の会員エリアを使いそれぞれの個人情報を同じく更新可能です。

パート2:活動報告書

アイテム1:プログラム番号
PMIあるいはPMI REP.(カテゴリー3のみ必須)により主催された活動に対しプログラム番号を提示示します。
PMPは、自ら獲得したPDUの単位数と同時にこのプログラム番号をREPから直接得てください。

アイテム2:プログラムタイトルもしくは活動内容
(15文字以下で)活動の題名が参加された教育コース/プログラムの正式名称を記入してください(必須)。

アイテム3:開始、終了月日
開始年月日、及び終了年月日を記入すること(必須)。

アイテム4:得られたPDU
組織立った活動がコース内の参加した時間数、あるいは明記された専門的な活動の事前に定義したPDUの数を示してください。
カテゴリー2のPDUを決定するために、このハンドブックのページ4にあるカテゴリー2活動のガイドを参照してください。(必須)

アイテム5:カテゴリー・タイプ
CCR活動のうち5つのカテゴリーの中から最もふさわしいものを記述してください。
カテゴリー2のみについては、サブカテゴリ(例えば2a、2bなど)を示してください。
サブカテゴリのリストに関しては、このハンドブックでカテゴリー2活動のガイドを参照してください。(必須)

アイテム6:カバーされた従属エリア
最も適切なプロセス、知識およびカバーされた適用エリアに示す活動を報告してください。
下記に示す指定コードから選択して使用してください。
全てのエリアに少なくとも1つは必ず記入してください。
3つまで記入出来ます。

アイテム7:活動組織
活動を提供した組織あるいは協会を識別するために十分な情報を提供してください。

(カテゴリ-2(自己研鑽学習)以外のすべてのカテゴリで必須です。)
アイテム8:組織の住所/電話番号 PMIが報告されている活動の詳細な情報が必要な場合に、連絡を取るための十分な情報を提供してください。 (カテゴリ-2(自己研鑽学習)以外のすべてのカテゴリで必須です。)
アイテム9:活動の満足度 あなたの満足感を記述してください。(カテゴリ-3は必須です。)
PDUを要求する場合、活動報告記録だけを提出してください。 自己研鑽活動(カテゴリ-2 SDL)のPDU要求は除外されます。 カテゴリ-2の要求は、活動報告様式に加え自己研鑽活動記録を含めてください。 PMPが監査される場合、支援するドキュメンテーション(完成、記録などの証明書)はすべて、PMP個人のCCRフォルダーの中で維持してください。
自己研鑽学習活動記録 カテゴリ-2の活動報告のために、この様式を使用してください。 様式 自己研鑽学習は各サイクル最大15PDUを得ることができます。
1. 活動があなたのプロジェクトマネジメント技術をどのように増したか説明するために、この活動のために以上の学習目的を1つ以上列挙してください。 例:「プロジェクトでのリスクを系統的に計算し、コンティンジェンシー・プランを策定することができること。」
2. あなたの活動の目的と学習タスクに特有の時間を達成するために使用した人的又は物的資源を列挙してください。 例: ジョン・スミス(会社のプロジェクト・オフィスの管理者)との議論。2時間
自己研鑽活動の1時間は、1PDUに等しい。 CCR活動報告記録上のアイテム#4に、このワークシートのPDUの総計を合算してください。 最高15の自発的な学習するPDUは各サイクル中に得ることができます。
CCR活動報告様式 PMPは、必要に応じてこの記録をコピーし、必要な情報を書き込み、郵送によってPMI/CCRへ完成した記録を送付してください。 送付先 PMI/CCR Records College of Continuing Education, 1700 Asp Avenue, Norman, OK 73072-6400 USA 又はファックス番号 +1-405-325-6925 あるいは、PMIウェブサイト(www.PMI.org)を使ってオンライン提出する。 注:各活動はそれぞれの活動報告様式ごとに提出してください。
個人情報
PMIのID番号(必須) (6ページを参照してください) 日付(dd/mm/yyyy)で記入。
名前(印刷するかタイプしてください) ミドルネームのイニシャル 名字(姓) Sir/Ph./Dr.など
住所 市 州(都道府県を記入) 郵便番号 国名
電話番号、ファクシミリ番号又はEメールアドレス
PMP活動報告 プログラム番号(カテゴリ-3のみ) -
プログラム名又は活動記述(15以内の単語で)
開始日(dd/mm/yyyy) / /
完了日(dd/mm/yyyy) / /
獲得PDU数

<p>カテゴリ種別</p> <p>含まれるエリア(コードを使用してください。各カテゴリとも3つのエリアまで示せます。) 知識エリア、プロセスエリア、業務/専門分野</p> <p>活動組織(カテゴリ-2自己研鑽活動を除く全てのカテゴリ)</p> <p>組織の住所又は電話番号(カテゴリ-2自己研鑽活動を除く全てのカテゴリ)</p> <p>活動満足度(カテゴリ-3のみ) 優秀、最良、良、並、可</p> <p>知識エリア</p> <p>01 人的資源マネジメント 02 統合マネジメント 03 タイムマネジメント 04 スコープマネジメント 05 品質管理 06 コミュニケーションマネジメント 07 コストマネジメント 08 リスクマネジメント 09 調達マネジメント 10 全て</p> <p>プロセス群</p> <p>01 立ち上げ 02 計画 03 実行 04 コントロール</p> <p>05 終結 06 全て</p> <p>適用/特定の関連分野</p> <p>01 航空宇宙/防衛 02 自動車 03 設計 調達 建設 04 ダイバシティ 05 教育訓練 06 環境マネジメント 07 金融サービス 08 国際通信技術 09 情報技術 10 製造 11 営業販売 12 新製品開発 13 石油、ガス、石油化学製品 14 製薬 15 プロジェクトマネジメントの品質管理 16 リスクマネジメント 17 役務及び外部発注 18 公益事業 19 プロジェクトマネジメントにおける女性 20 政府機関 21 構成管理 22 コンサルティング 23 eビジネス 24 接客マネジメント 25 国際開発 26 メトリクス 27 小売り</p> <p>私は、ここで申請した情報すべてが確かに真実でかつ正確である、と宣誓します。</p> <p>PMIへ提供した誤った表現もしくは不正確な情報によって、私のPMP資格が保留又は取り消されることに了承します。</p>

署名

最新情報はPMIのウェブサイトをお願いします。

✕